

今後も市バス路線を維持するには？

お客様の声 その1

市バス路線のルートや始発・終発のバスの時刻、便数などはどうやって決めているの？

その1の答え

神戸の市バスの役割は、基幹交通である鉄道とお住まいの地域をつないで公共交通を補完することにあります。

市バス路線は、鉄道との役割分担を図りながら、日々の各路線のご利用状況や適宜実施している乗降調査、お客様の声、地域の状況（地形・交通アクセス・高齢化率など）、地域間の公平性、採算性などを踏まえて総合的に勘案し決定しています。

皆様からのご意見は、より良いバス路線にしていくための貴重な参考となります

お客様の声 その2

市バスの本数を多くしたり、運行時刻の延長や乗り換えなしで遠くまで行けるようにするなど便利にしてほしい。

その2の答え

バスの本数を増やしたり路線を長くすることは、それだけ多くの経費がかかります。実際の利用状況に見合った以上の運行を行えば、一時的に便利になるかもしれませんが、採算が取れなくなり乗車料金を値上げするか路線を維持できず廃止ということにつながります。

路線を維持し便利にしていくためには、より多くのお客様がその路線をご利用いただくことが必要です。ご協力をお願いいたします。

お客様の声 その3

市バス路線の運営はどのように行われているの？税金をちゃんと払っているのだから、もっと市バスを便利にしてほしい。

その3の答え

市バスを運行するための費用は、税金ではなく原則として乗車料収入で賄っています。市バス路線を維持するためには、乗車料収入と運行経費の採算をとる必要があります。交通局では適正な料金負担で市バスをご利用いただけるよう運行の効率化に努めているところです。

お客様の声 その4

市バスの経営状況はどうなっていますか？

その4の答え

少子高齢化の進行等により乗車人員が減少傾向にあり厳しい経営環境が続いています。また、コロナウイルス感染症拡大により、更なる悪化となり、神戸の市バス路線の約9割が赤字路線となっています。

交通局では営業所の民間委託や人件費の削減など経営改善に取り組んでいますが、あわせて不採算路線については見直しを行っていく必要があります。

（参考）一日あたり乗車人員の推移

平成10年度	→	平成20年度	→	令和元年度	→	令和2年度
279,621人/日		211,176人/日		180,194人/日		138,892人/日

（参考）令和2年度営業収益及び営業費用



<http://www.city.kobe.lg.jp/kurashi/access/kotsukyoku/kotsu/gaiyou/zaisei/ind>

お客様の声 その5

赤字路線は全て見直しをするの？

その5の答え

市バス路線を維持していくため、原則としてお客様の利用状況と乗車料収入に見合うように路線の長さを短くしたり運行本数を減らすなどによって見直しをします。

一方で市バスは「市民の足」を確保する役割を担っているため、他に代替手段がなく各地域の生活を維持するために必要な路線については運行を行っています。路線を維持し便利にしていくためには、より多くのお客様にその路線をご利用し

答え：皆様に市バスをご利用していただくことが大切です